

## 一般用需要4カ月連続の前年割れ ～8月LPガス需給実績(5日集計)～

日本LPガス協会が27日にとりまとめた「LPガス需給統計」(5日集計)によると、8月のLPガス需要(元売出荷ベース)は前年同月比2.8%減の918千トにとどまった。3カ月連続の前年割れ。プロパン需要が4カ月続いて低迷したことが響いた。これに対して供給は、輸入が比較的高水準で109万トと前月に続いて100万トを大きく超えたほか、国内生産も好調で25万トの合計133万トとなった。この結果、8月末の一次基地在庫は月間414千ト増加の1,940千ト、前年同月末比122.2%となった。うちランニング在庫は844千トで同171.2%と超高水準となった。日本勢の在庫高がスポット輸入手当てを低調にしており、極東CFR市況の大幅下落につながった。

1. <生産>8月の国内LPガス生産量は、石油精製分が前月比38千ト増、前年同月比13.4%増の211千ト、石油化学分が前月比2千ト減、前年同月比56.5%増の36千トとなった。8月の原油処理量(精製業者分)は前月比5.8%増、前年同月比1.7%減の1,574万k1となったこと、及び製油所定修がなかったことを反映して石油精製分生産が大幅増加したもの。製油所定修がなかったことを反映して増加した。精製分生産量が20万トを超えたのは昨年7月以来13カ月ぶり。製油所でのLPガス自家消費がやや低調だったこともLPガス統計に示される精製分生産=市場への出荷量の増加につながった。石油化学での生産は、エチレン生産量が551千トで前月比、前年同月比ともに6.7%増となった。エチレンプラントの定修は1社1プラントで前月、前年同月と同じだったが、稼働率はやや低下の93.8%にとどまった。しかし、ここでも原油高・ナフサ高を反映してLPガス原燃料用自家消費が増加したことで前月に比べて市場出荷量(生産量)は2千ト減にとどまった。

2. <輸入> 輸入は1,085千トで前月比256千ト増、前年同月比では14.7%(139千ト)増。超低水準だった昨年と比べると増加したが、2016年、2017年の988千ト、935千トをも比べても高水準となった。8月輸入は下期入り前の在庫積み上げで多くなるが、100万トを超えたのは2010年以來のこと。米国からの入着が多かった。それでもなお極東には米国からのカーゴが入着を続け、極東市場に米国産プロパンがジャブジャブ状態となり、。極東CFR市況が大きく下げる要因となった。中国勢が米国産の輸入が高関税でできないため中東産に全面シフト。この結果、極東市場は分裂状態。日本CFR市況が中国CFRよりも30～50ドルも安くなった。

8月の国別輸入状況は、北米が874千ト(うちカナダ63千ト)、オーストラリア98千ト、アブダビ65千ト、カタールが48千ト。サウジアラビアからの輸入は前月に続いてゼロだった。北米からの輸入比率は80.6%。なおプロパンに限ると882千ト輸入のうち北米が792千トで90.6%となっている。サウジ離れ・米国一辺倒の輸入状況が続く。ターム契約による輸入はこれほどないが、今や米国のプロパン輸出は年間3,300万ト超ペースとなっており、アジア・極東地域には米国カーゴがどんどん流入、勢いトレーディングによる米国玉の輸入も高比率となる。サウジからの輸入は4～8月でわずかに23千トとVLGC半杯分だ。

3. <総需要と一般用需要>8月のLPガストータル需要は、プロパンが前年同月比2.3%減の674千ト、ブタンが同3.9%減の244千ト、合計で同2.8%減の918千トとなった。プロパンのマイナスは4か月続き。ブタンのマイナスは3か月続き。一般用需要に限ると、プロパンが3.0%減の649千ト、ブタンが1.9%減の203千ト、合計が2.7%減の852千ト。8月の気温は、北日本が平年比0.7℃高、東日本は同1.4℃高、西日本が同0.3℃高。東北と関東甲信は同1.6℃高ととりわけ暑かった。しかし、省エネ機器の普及や家庭での節エネによる需要低迷で気温にかかわらず家庭用プロパン需要は低調になっている。しかし、LPガスGHPの増加が低調な需要を下支えしている。ちなみに、4~8月のLPガスGHP出荷台数は前年同期比59%増の4,025台、馬力数にして同75%増の80.6千馬力と大幅に伸びている。

4. <輸入船直納需要> 鉄鋼用の受入れは引き続きゼロだったが、化学原料用はブタン受入れが続き41千ト（三井化学30千ト、昭和電工11千ト）（昨年8月はブタン22千ト）、電力用（東京電力）がプロパン25千ト、ブタンゼロ（前年8月はプロパン21千ト、ブタン25千ト）。直納需要合計ではプロパン25千ト、ブタン41千トの計66千ト（前年8月68千ト）。

5. <在庫> 以上のような需給の結果、8月末の一次基地在庫は7月末比414千ト増の1,940千トとなった。昨年8月末比122.2%。うちランニング在庫は844千トで7月末比385千ト増、前年同月末比171.2%の超高水準。プロパンランニング在庫だけみると、前年同月末比182.6%と更に超高水準在庫だ。スポット買いは低調にならざるを得ない。7月末法定備蓄量は1,094千ト。2月から民間備蓄日数が50日分から40日分に軽減されている。

8月のLPガス需給実績は次のとおり（単位・千トン、カッコ内は前年比％）。

	プロパン	ブタン	合計
月初在庫	1,020 ( 116.3)	506 ( 101.4)	1,526 ( 110.9)
ランニング分	285 ( 202.1)	174 ( 143.8)	459 ( 175.2)
法定備蓄	735	332	1,067
<供給>			
石油精製分生産	102 ( 97.1)	109 ( 134.6)	211 ( 113.4)
石油化学分生産	21 ( 262.5)	15 ( 100.0)	36 ( 156.5)
輸入	882 ( 115.0)	203 ( 113.4)	1,085 ( 114.7)
供給計	1,005 ( 114.2)	327 ( 118.9)	1,332 ( 115.3)
<出荷>			
一般用	649 ( 97.0)	203 ( 98.1)	852 ( 97.3)
鉄鋼用	0 ( -- )	0 ( -- )	0 ( -- )
化学原料用	0 ( -- )	41 ( 186.4)	41 ( 186.4)
電力用	25 ( 119.0)	0 ( -- )	25 ( 54.3)
輸入船直納計	25 ( 119.0)	41 ( 87.2)	66 ( 97.1)
出荷計	674 ( 97.7)	244 ( 96.1)	918 ( 97.2)
<在庫>			
月末在庫	1,351 ( 126.6)	589 ( 113.3)	1,940 ( 122.2)
ランニング分	566 ( 182.6)	278 ( 151.9)	844 ( 171.2)
法定備蓄	785	311	1,096

(注) 在庫は一次基地在庫